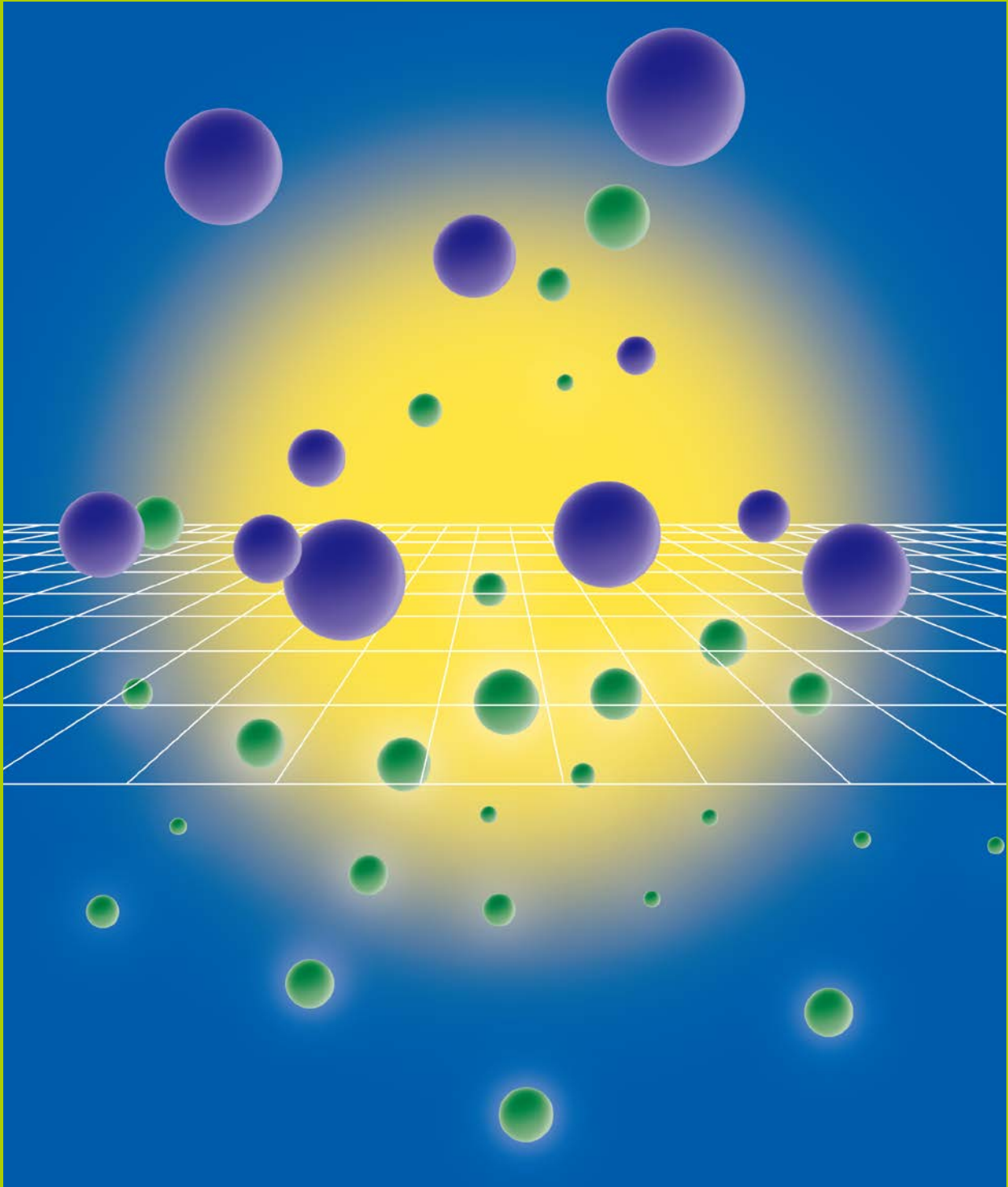




エポキシ系2液反応硬化型浸透強化剤

浸透プライマー

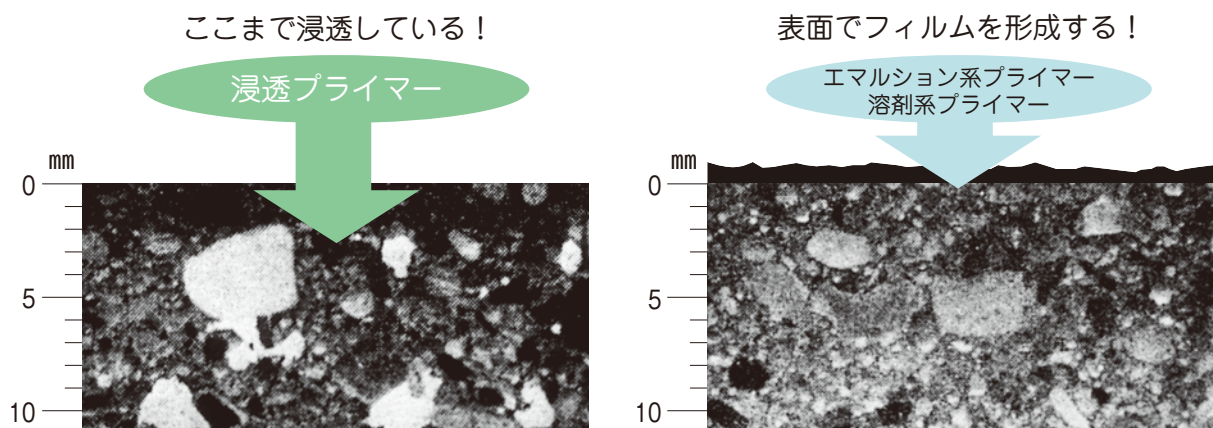


ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO.,LTD.

脆弱化した無機質系下地に 容易に浸透、…そして強化する。

建物や構造物の耐久性を向上させるには仕上材のもつ役割が大きいとされています。しかし、表層が弱くなった下地に仕上げを施した場合、しばらくすると剥離などの現象が起きたり、耐久性の低下をまねきます。

改修・新築に限らず浸透プライマーは、このような脆弱化した無機質系下地のために開発された、強力な浸透・強化剤です。



浸透プライマーのモルタル中への浸透

上の写真から明らかなように、浸透プライマーは脆弱化したモルタルの表層に浸透(2~3mm)していますが、エマルジョン系プライマーや溶剤系プライマーは表面でフィルムを形成するため、容易に浸透することはできません。このような高い浸透性を示すのは浸透プライマー分子がエマルジョン系プライマー粒子や溶剤系プライマー分子に比べて格段に小さいためです。(約2nm)

特長

- 1 分子が小さいので、中性化が進行し脆弱化した無機質系下地に容易に浸透し強化します。
- 2 低粘度のためヌレ性がよく、空気を遮断し、錆抑制効果が得られます。
- 3 塗布後、約48時間まで樹脂系塗材の施工が可能です。ただし、無機質系塗材の場合は、カチオンタイト等の処理が必要です。

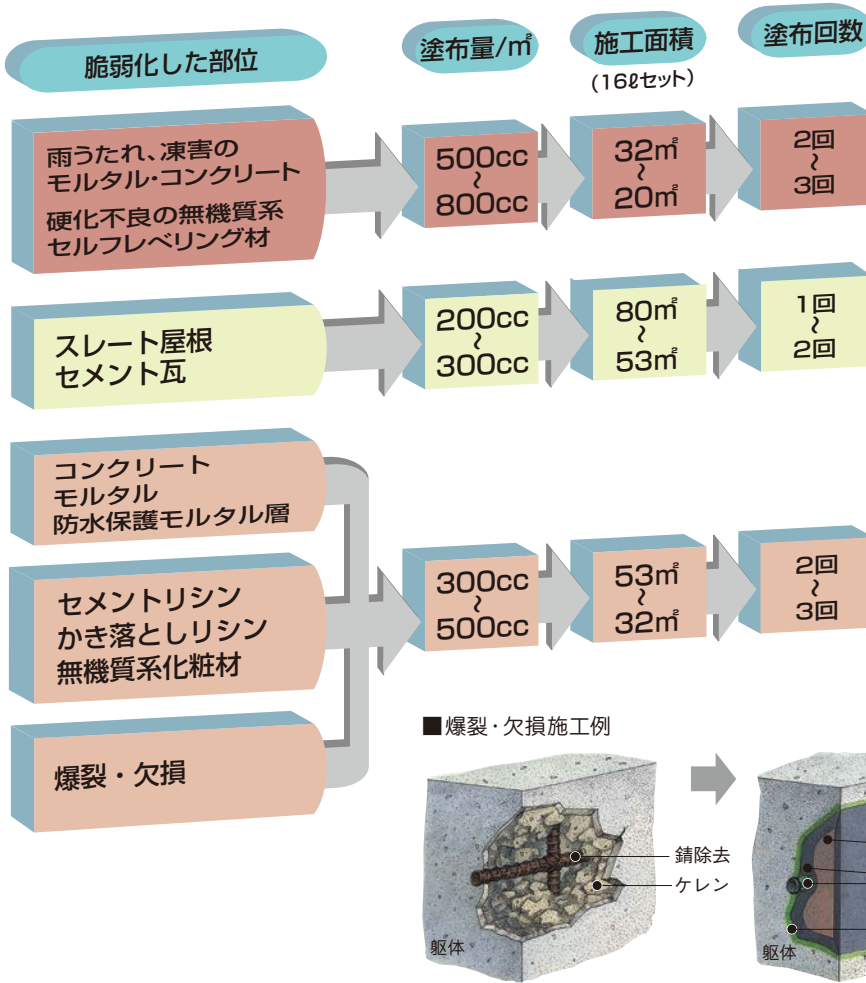
※塗布間隔の項を参照

用途

- 施工直後の雨うたれにより、脆弱したモルタル・コンクリート表層の浸透強化。
- 凍害をうけて脆弱したモルタル・コンクリート表層の浸透強化。(凍害部分除去)
- 無機質系セルフベリング材の硬化不良による脆弱表層の浸透強化。
- 脆弱した防水保護モルタル表層の浸透強化。
- 経年により中性化が進行し脆弱したモルタル・コンクリート・無機質系化粧材(セメントリシンなど)表層の浸透強化。
- 木質系型枠による新設コンクリート壁面硬化不良層の浸透強化。
- 経年により脆弱したスレート・セメント瓦表層の浸透強化。
- 爆裂部鉄筋の錆抑制、および欠損部モルタル・コンクリートの浸透強化。

浸透プライマー適応下地の概算塗布量

- 脆弱の度合いによって塗布量は変わります。
- 吸込みが激しい場合はさらに数回塗布してください。
- 塗布量の多い場合（500cc/m²以上）ジョーロで数回塗布してください。
- 施工器具はウーローラー・刷毛・エアレス等です。



改修適合材料

カチオンタイトF
カチオンタイトFS

カチオンタイトT
カチオンタイトTS

マルチカチオンC

速硬カチオンコテ
速硬カチオンローラー
速硬カチオン厚塗り

タイトワンコテ
タイトワンローラー

YS厚付けモルタル※

使用方法については、
カチオンタイトパンフレットを
ご参照ください。

※下塗りにカチオンタイトF・
タイトワンコテが必要です。

可使用時間

- 4時間以内で使い切る量を混合してください。(23℃)
- 可使用時間を過ぎた材料は絶対に使用しないでください。

塗布間隔

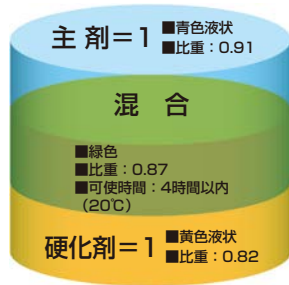
- 浸透プライマーの塗り重ね塗布間隔は0.5～1時間以内です。
- 次工程で樹脂系塗材を施工する場合は下記の時間以内に行ってください。
夏期/6時間～48時間、冬期/12時間～60時間
- 作業状況により、やむをえず上記時間以内に作業できなかった場合および無機質系塗材を施工する場合は、カチオンタイトを塗布してください。

施工上の注意

- 有機質系下地に使用するとウキ・ハガレ等を生じる恐れがありますので使用しないでください。
- 下地は十分に乾燥しているか確認してください。浸透性を阻害させるばかりではなく、未硬化の要因となりますので十分に注意してください。
- 下地の油脂は完全に除去してください。
- 浸透プライマー塗布後は、そのままにせず必ずカチオンタイトや仕上材を施工してください。
- 次工程に無機質系材料（YS厚付けモルタル・モルタル等）を塗布する場合には、カチオンタイトFをコテ塗りしてから施工してください。ただし、モルタル・FRP等収縮ひずみの大きい材料を塗布する場合には、浸透プライマーが硬化するのを確認してから施工してください。（夏期/48時間以上、冬期/60時間以上）
- 2液反応硬化型ですから、塗布器具などの洗浄はシンナーで十分に行ってください。

計量・攪拌

主剤と硬化剤を容量比で1:1に混合し、均一な緑色になるように混ぜてください。



貯蔵中主剤の青色が退色する場合がありますが性能には全く影響ありませんので安心してご使用ください。

性状・荷姿

		主 剤	硬化剤
容 量	16ℓset(角缶入り)	8.0ℓ	8.0ℓ
	1ℓset(角缶入り)	0.5ℓ	0.5ℓ
外 観		青色透明	黄色透明
組 成		エポキシ変性特殊樹脂・溶剤	ポリアミド樹脂・溶剤

※本品は主剤と硬化剤のセット品です。セットされた以外の材料との混合は絶対避けてください。



16ℓ セット (8ℓ × 2)



1ℓ セット (0.5ℓ × 2)

性 能

●浸透プライマーと各種プライマーの強化比較

付着強度N/mm ² (kgf/cm ²)	乾燥状態	湿潤状態	温冷繰返後	破壊状態
浸透プライマー	1.6(16.0)	1.5(14.9)	1.4(14.1)	吹付タイル層
無 処 理	0.4(4.1)	0.1(1)以下	0.1(1)以下	脆弱層
エマルジョン系プライマー	0.6(6.7)	0.1(1)以下	0.1(1)以下	脆弱層
溶剤系プライマー	0.8(8.3)	0.1(1)以下	0.1(1)以下	脆弱層

【試験条件】

下 地:脆弱モルタル
仕 上:アクリル系吹付タイル
塗布量:500cc

(建研式接着力試験)

●耐摩耗性試験

1:2プレーンモルタル板に浸透プライマーを500g/m²の割合で塗布する。

21日間養生後、テーバー摩耗試験機により摩耗減量を測定する。 摩耗輪:GC150H、1000回転。

摩 耗 減 量 (g)	プレーンモルタル	浸透プライマー 500g/m ²
	8.5	2.7

※水性タイプ「ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地」も用意してあります。

■ 予防策

- 容器を密閉しておくこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護面、保護衣を着用すること。
- 取扱い後は手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
- 火花を発生しない工具を使用すること。
- 熱、火花、裸火、高温体などのような着火源から遠ざけること、禁煙。
- 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- 環境への放出を避けること。

■ 応急処置

- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合、ただちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。※商品の仕様等は、予告なく変更することがありますので御了承ください。

- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断・手当を受けること。
- 目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること。
- 火災の場合には、消化に炭酸ガス、泡、粉末消化剤を使用すること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断・手当を受けること。
- 漏出物を回収すること。

■ 保管

- 涼しい所、換気の良い場所で、施錠して保管すること。

■ 廃棄

- 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。



ヤブ原産業株式会社

本 社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp